

令和5年度 学校教育自己診断【教職員用】

大阪府立守口支援学校

【回収率】

小学部:29(30)【96.7%】 中学部:27(27)【100%】 高等部:29(29)【100%】 その他:10(10)【100%】 無回答1 合計96【100%】

「肯定」:「A:よくあてはまる」「B:ややあてはまる」を合わせた割合を算出

「否定」:「C:あまりあてはまらない」「D:まったくあてはまらない」を合わせた割合を算出

	診断内容	肯定				否定			
		R4	R5	R4比較	順位	R4	R5	R4比較	順位
学校教育計画	1 学校の教育課題について、教職員で日常的に話し合っている。	76.9%	85.3%	8.3%	19	16.3%	10.5%	-5.8%	18
	2 各年度の「学校教育計画」は各分掌、委員会の活動計画とリンクしている。	82.7%	73.7%	-9.0%	37	6.7%	8.4%	1.7%	22
	3 学校は、経営計画に合った「特色ある教育活動」に取り組んでいる。	65.4%	72.6%	7.2%	40	20.2%	12.6%	-7.6%	13
	4 各年度末には、教育活動全般にわたって反省・評価を行い、次年度の「学校教育計画」に生かしている。	71.2%	68.4%	-2.7%	41	14.4%	16.8%	2.4%	7
学校運営・学校経営	1 教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	41.3%	46.3%	5.0%	47	51.0%	45.3%	-5.7%	1
	2 児童・生徒の学びを支援するため、学部間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。[65%以上]	69.2%	73.7%	4.5%	37	22.1%	15.8%	-6.3%	10
	3 職員会議、部会、学年会等の会議が有効に機能し、教育活動や学校運営に生かされている。	64.4%	77.9%	13.5%	31	25.0%	18.9%	-6.1%	6
	4 教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。[65%以上]	79.8%	76.8%	-3.0%	33	13.5%	15.8%	2.3%	10
	5 学校予算は適切に執行され、各教科に必要な備品や教具が配置されている。	48.1%	61.1%	13.0%	45	38.5%	27.4%	-11.1%	3
	6 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。[65%以上]	65.4%	75.8%	10.4%	36	25.0%	16.8%	-8.2%	7
	7 教職員は服務規律の遵守等、教育公務員としての自覚をもって勤務している。	86.5%	88.4%	1.9%	12	6.7%	7.4%	0.6%	25
	8 施設・設備は必要に応じて適切に整備しようと努力している。	49.0%	76.8%	27.8%	33	41.3%	22.1%	-19.2%	5
	9 教育活動に必要な情報について児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている。	78.8%	85.3%	6.4%	19	7.7%	7.4%	-0.3%	25
危機管理・安全管理	1 指導要録、健康診断表、保護者案内文書等の收受、発送、保管に対する管理がなされている。	90.4%	95.8%	5.4%	1	2.9%	1.1%	-1.8%	47
	2 個人情報保護の観点から、児童・生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	90.4%	93.7%	3.3%	2	5.8%	2.1%	-3.7%	45
	3 大規模災害に備え迅速かつ適切な対処ができるよう、対策の検討と整備を行っている。	84.6%	87.4%	2.8%	14	6.7%	4.2%	-2.5%	37
	4 教職員間におけるセクハラ、パワハラ等の人権侵害事象が発生しないために啓発等を行っている。[80%以上]	78.8%	88.4%	9.6%	12	14.4%	5.3%	-9.2%	33
	5 児童・生徒の生活の場として、清潔・安全な教育環境が整備されている。	70.2%	65.3%	-4.9%	43	26.0%	34.7%	8.8%	2
	6 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。[75%以上]	71.2%	82.1%	11.0%	24	26.0%	12.6%	-13.3%	13
	7 いじめ(疑いも含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	76.9%	73.7%	-3.2%	37	4.8%	6.3%	1.5%	31
人権教育	1 人権教育の重点課題が毎年設定され、課題に応じた研修が行われている。	88.5%	87.4%	-1.1%	14	2.9%	6.3%	3.4%	31
	2 体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた教育活動が行われている。	89.4%	90.5%	1.1%	9	2.9%	4.2%	1.3%	37
	3 児童・生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。	89.4%	93.7%	4.3%	2	3.8%	3.2%	-0.7%	42
	4 各学部の人権尊重のためのアクションプランに基づいて行動することができている。	83.7%	82.1%	-1.5%	24	5.8%	10.5%	4.8%	18

	診断内容	肯定				否定				
		R4	R5	R4比較	順位	R4	R5	R4比較	順位	
児童・生徒指導	1	学校には、児童・生徒指導上の校内支援体制が整備されている。	86.5%	92.6%	6.1%	5	4.8%	3.2%	-1.6%	42
	2	学校では、児童・生徒の実態に応じたカウンセリングマインドを取り入れた児童生徒(生活)指導を行っている。	83.7%	86.3%	2.7%	18	4.8%	5.3%	0.5%	33
	3	生活指導において、家庭や関係機関等との連携ができています。	86.5%	91.6%	5.0%	7	5.8%	3.2%	-2.6%	42
	4	相談体制が整備されており、児童生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。	75.0%	81.1%	6.1%	28	12.5%	9.5%	-3.0%	21
教育課程・学習指導要領	1	教育課程の編成に当たって、「学習指導要領の趣旨」が生かされている。	75.0%	78.9%	3.9%	30	10.6%	8.4%	-2.2%	22
	2	児童・生徒の実態をふまえ、指導内容や指導方法や学習形態の工夫・改善を行っている。[85%以上]	79.8%	92.6%	12.8%	5	7.7%	4.2%	-3.5%	37
	3	「自立活動の指導」については、教育活動全般にわたって児童・生徒が主体的に取り組めるよう工夫している。	76.9%	82.1%	5.2%	24	8.7%	10.5%	1.9%	18
	4	<u>1人1台端末を活用して、自らの授業で個別最適な学びの支援を行ったことがある。</u>	75.0%	82.1%	7.1%	24	17.3%	11.6%	-5.7%	17
	5	学校行事について教職員で話し合い、児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫、改善、精選を行っている。	77.9%	83.2%	5.3%	23	8.7%	12.6%	4.0%	13
キャリア教育・進路指導	1	児童・生徒の将来(ライフステージ)を見通した指導、支援を心掛けている。	78.8%	90.5%	11.7%	9	5.8%	2.1%	-3.7%	45
	2	生徒一人一人が適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい進路指導を行っている。(中・高のみ)	95.5%	92.9%	-2.6%	4	7.6%	3.6%	-4.0%	41
教員の資質向上・若手育成	1	校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。	81.7%	77.9%	-3.8%	31	7.7%	12.6%	4.9%	13
	2	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。[75%以上]	76.0%	76.8%	0.9%	33	9.6%	16.8%	7.2%	7
	3	初任者等、経験の少ない教員を校内で育成する体制がとれている。	57.7%	57.9%	0.2%	46	23.1%	26.3%	3.2%	4
	4	学校内で、他の教員の授業を見学する機会を設けている。	81.7%	91.6%	9.8%	7	8.7%	7.4%	-1.3%	25
	5	府教育センター等が主催する研修に計画的に参加する体制が整っている。	58.7%	63.2%	4.5%	44	24.0%	14.7%	-9.3%	12
	6	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。[65%以上]	68.3%	85.3%	17.0%	19	17.3%	5.3%	-12.0%	33
地域連携活動	1	<u>教職員は、学校がPTAと連携して行っている活動を理解し協力している。</u>	40.4%	80.0%	39.6%	29	38.5%	8.4%	-30.0%	22
交流	1	近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設け教育活動全般にいかしている。[70%以上]	63.5%	85.3%	21.8%	19	20.2%	7.4%	-12.8%	25
個別の教育的支援機能計画	1	児童・生徒や保護者の参画のもと「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成している。	88.5%	90.5%	2.1%	9	1.0%	4.2%	3.2%	37
	2	学校は、児童・生徒や保護者の願いを踏まえ教育活動全般にわたって「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を活用している。	85.6%	87.4%	1.8%	14	2.9%	7.4%	4.5%	25
	3	「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」について、教職員の共通理解を図り、活用している。	81.7%	87.4%	5.6%	14	8.7%	7.4%	-1.3%	25
	4	学校は特別支援教育の「センター的機能の役割」を果たしている。	75.0%	68.4%	-6.6%	41	4.8%	5.3%	0.5%	33